

# ΚΟΣΜΟΣ

図書館引き出し帳

新聞活用法

No.119 1997 秋

巻頭・エッセイ	1
貴重書を訪ねて(番外編)	2
研究室の窓	3
図書館紀行	4
図書館引き出し帳	5
カウンター発9時	9
図書館アラカルト	10

巻頭エッセイ

## 写本の喜び、写本の哀しみ

東長 靖

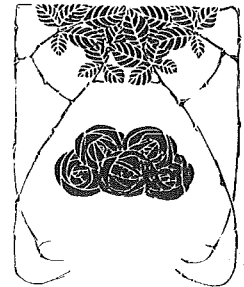
「へーっくしょい。」大きな音が静かな部屋に響きわたる。私は慌てて鼻をかみ、その音が再びしじまを破る。同じ部屋にいる2～3人はしかし、何事もなかったかのように、鉛筆を走らせつづけている。それにしても寒い。寒すぎる。

1991年の暮れ、私は、青春の思い出の地、カイロを訪ねていた。86年から88年までをカイロ大学大学院で過ごして以来、ほぼ3年ぶりの訪問であった。アラビア語の写本を探しに来たのだが、許された休暇は2週間。カイロに到着した翌日から、さっそく写本館めぐりが始まった。

カイロでの3日目は12月24日にあたっていた。しかしイスラーム世界であるエジプトでは、街はふだんどおりに動いている。私も朝早くから、千年の歴史を誇るアズハル大学の写本館で写本を読んでいた。日本にいても写本は読めるが、しょせんはコピーである。今、私の目の前にあるのは、何百年も前の人書き写した現物なのだ。これまで、数多くのアラブの学生や学者たちが、この写本を手にし、読んできたにちがいない。今私がしているのと同じように。見たこともない彼らとふれあえるような気がして、写本を手にするのが軽い興奮を感じるのが常であった。

それにしても寒い。気がついてみると、写本室の大きな窓を職員が全開にしていた。いくらカイロが暖かいとはいっても、年末ともなれば冷えこむのだ。室内には暖房らしい暖房はなく、私たちはジャンパーを着たまま写本を読んでいる。室内はせっかく人いきれで少しばかり暖まったというのに、全開の窓からは寒気がどっと入ってくる。それからおよそ30分ほど窓は開いたままだった。今にして思えば、定期的に空気を入れ替えるよう決められていたのだろう。空調設備の整っていない写本館のせいっぱいの写本保護策なのかもしれない。

この儀式は私が通っているあいだ、毎日繰り返された。おかげで私はかぜをひいてしまい、25日の夜には39度の高熱を発してしまった。こうなると写本調査も命がけである。2～3日は安静にしていたが残された時間は短い。12月31日には再び私は写本室に坐って本を読んでいた。1月1日も、2日も読んでいた。毎日繰り返される儀式のなか、くしゃみをし、鼻をかみながら、読みつづけていた。



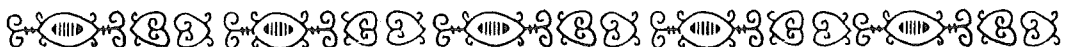
【要約】

الايام الجميلة مع المخطوطات العربية

توناكا ياسوشي

قامت بزيارة القاهرة في أواخر عام ١٩٩١ بهدف الاطلاع على المخطوطات العربية الخاصة بالتصوف الإسلامي. وقد كنت أذهب كل يوم لقراءة المخطوطات في مكتبة الأزهر ودار الكتب المصرية وجامعة الدول العربية. على الرغم من أننا نستطيع قراءة المخطوطات في اليابان، إلا أنها مجرد صور للاصول المحفوظة في البلاد الأجنبية. لذلك فقد سعدت جدا عندما تمكنت من الاطلاع على النسخ الاصلية من هذه المخطوطات. الايام التي قضيتها في الاطلاع على هذه المخطوطات الاصلية هي ذكرى من ذكريات شبابي.

(とうなが・やすし 文学部教養課程人文分野 助教授)



## 哲学堂文庫冊子目録完成

松 澤 実

長い歴史をもつ図書館には、それに相応しい蔵書があります。東洋大学は明治20(1887)年創立、そして、図書館は明治33(1900)年に初代の図書館が落成いたしました。

今日にいたるまで、着々と蔵書を増やしてきましたが、その中でも、本学図書館の核となりうる特色あるコレクションをいくつか収めています。そのひとつに「哲学堂文庫」があげられます。このコレクションは、江戸時代後期を中心とした時代に刊行された書物を中心に構成されており、国漢書2,000種強、仏書が5,000種弱。各々10,000冊余あり、合計で約7,000種、21,000冊から成っています。

このコレクションのもとをたどれば、創立者の井上円了博士が社会教育の場として設置した哲学堂公園の大正5(1916)年に開設された、図書館の蔵書です。哲学堂公園は昭和19(1944)年に東京都に一括寄贈されたが、哲学堂の蔵書については、昭和50(1975)年に全てが東京都から本学へ移管されました。

「哲学堂文庫」はその来歴からもわかるとおり、特定の専門家のみが利用することを前提としたコレクションではなく、多くの好学の人々に利用されることを望んで収集された資料と言えるでしょう。コレクションの内容は網羅的といってよく、主として人文系の資料が全般的に収められております。このコレクション自体は井上円了博士の学問の体系に対する観方があらわれているといえ、それは、私のがち過ぎということになりましょうか。

また、国漢書の部には、「相法ト筮部」や「怪談草紙部一および二」があるのも、井上円了博士ならではのところでしょう。

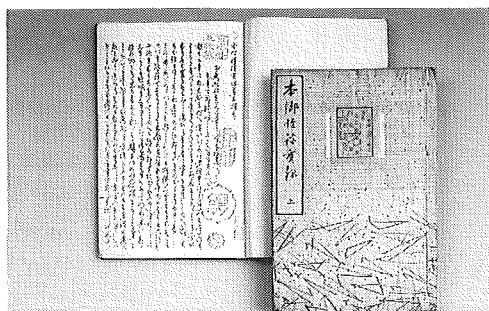
これまで「哲学堂文庫」の内容を知る手懸りと

しては『哲学堂図書館図書目録』(大正5年発行、昭和60年復刻)がありました。これは図書資料をテーマ別に分類し、書架の排列にならって記載されたものでした。残念ながら索引はなく、目的とする資料にたどりつくまでに時間が多少かかりました。今回発行した『新編哲学堂文庫目録』(平成9年3月発行)は、書名索引、著書名索引を付けましたが、これは異名からも検索することができるようになっています。また、目録作成の過程では資料のすべてにわたり、書誌事項(書名、著者名、刊年、版元他)を調査し、その成果が目録に生かされております。

このような目録が独力で短時間のうちに完成するということは到底不可能で、多くの人々の知恵と努力が結集したことによることは言うまでもありません。その経緯については、編集委員長である文学部神作光一教授の手による「あとがき」に記載されておりますので、それをご覧いただきたいと存じます。

『新編哲学堂文庫目録』により、より広汎な人々が哲学堂文庫に親しむようになることを願ってやみません。

(まつざわ・みのる 図書事務課主任)



(写真は『本郷怪談實録』)

# 「コンピュータ」と「モータ」

矢野 昌雄



近年パソコンから大型計算機まで、我々の生活にコンピュータは不可欠な要素として取り入れられてきました。21世紀は、マルチメディアを中心とした情報通信の爛熟する時代となるでしょう。このような状況の中で、米国ではIBM、マイクロソフト、インテルなどのハイテク企業がコンピュータの中枢技術を独占する形で著しい成長を遂げています。日本でも、ゲーム機なども含めたAV機器で独創的な製品を産み出すソニーや情報通信を主力とするNECや富士通が、総合電機メーカーといわれる日立、東芝、三菱電機などを売り上げや利益において追い付き、追い越す状況になっています。

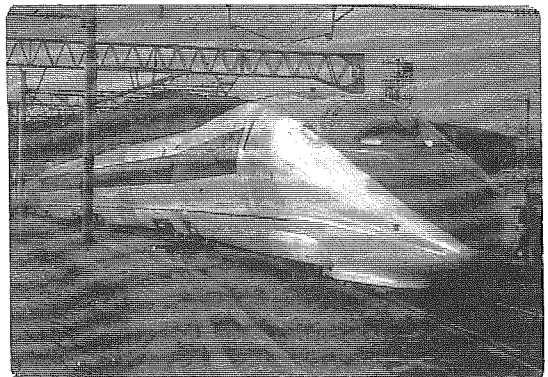
数十年まえを振り返ると、米国のGEやウエスティングハウス等超一流会社が重電技術を世界的にリードしていました。米国は比較的オープンな市場政策を取ったため、格安な外国製品が乱入しモータやトランスなどの重電製品の利益が上がりなくなりました。米国の会社の経営は、利益率を重視し、将来の成長機種にはっきりとした重点を置く施策をとることなので、一部の製品を除いて、殆どの製造を中止するか工場を売却してしまいました。現在では世界のなかで、大きな重電製品を作れるメーカーは欧州の数社と日本の上記三社となっていました。

スマートなコンピュータに比べて、モータは古臭くどん臭い印象を持っておられるでしょう。なにか良く分からない鉄と銅のかたまりといったところでしょう。しかしながらモータがなければエレベータや新幹線も動きませんし、フロッピーディスクも使えません。ライフラインといわれる便利な電気も、発電機やトランスが無ければ使えないのです。コンピュータが頭脳の働きをするのに対して、手足となるモータやインバータが必要となります。

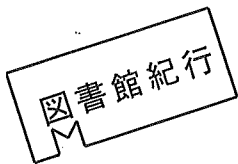
インバータは高圧の電力を加工して、モータにふさわしい電力を与えるものです。インバータには直径10cmの大きなウエファを加工した半導体が使われます。半導体の一部分でも欠陥があると、全体が使えないため、製作が困難ですが、IC技術の優れている日本のメーカーの得意なところなのです。このように大電力を半導体で処理する技術分野をパワーエレクトロニクスと呼び、この分野では日本と欧州が技術の中心となっています。私の研究室では主として、電車の牽引力を増したり、鉄鋼圧延の精度を上げ良質な鉄板が製造できるのに、好ましいモータの制御特性が得られる方式をコンピュータで研究開発しています。

米国のように意志決定を明確にすることも必要ですが、もうからない物をすぐ捨ててしまうのではなく、先端技術を取り入れながら、在来技術を伝承し改良して行くことも技術者および大学の大切な任務と考えます。

(やの・まさお 工学部電気電子工学科教授)



現在世界最高速 (300km/h) の500系のぞみ号



# 国会図書館へ行こう!!

(国会図書館本館・永田町編)

案内人 ◎ 星野孝司



国会図書館へ行ったことがおありだろうか。  
なに、ない。

しからは本日は拙者が案内しよう。

まずここが入口だ。警備のおにいさんと受け付けのおねえさんがいる。区役所の記入場みたいな机がある。まずここで用紙に記入する。

筆記具やノート、財布の他は、カサとか大きな袋物など、閲覧室に持っていけない荷物がある。そういうのはあそこにあるコイン・ロッカーに入れておく。

受け付けのおねえさんに記入した用紙を渡すと、ホラ、カードをくれる。このカードが、館内でのIDになるんだから絶対なくさないように。20歳以上なら、基本的に身分証明書の類はいらさないんだが、公的機関だからな、なにかあったときのために、学生証くらいは必ず持っていくこと。

ちなみに館内でのIDの他、このカードは何をするものかという、あそこにある機械で本の請求票を作るのにも使う。カードを機械に入れて、枚数のスイッチを押すと、ブーン、ガチャン。ほら、右肩に自分の番号が印刷された紙が出てくるのだ。

これに必要事項を書き込んで、今度はあそこの「請求」って書いてあるカウンターのところへゆく。すいません、これをお願いします。

ほら、見なよ、職員さんが請求票を丸めて、筒に入れて、わきにあるパイプの蓋をあけて中にほおりこんだ。書庫に通じてるシューターになっているんだ。そのうちこっちの「受け渡し」カウンターの後ろのベルトコンベアに乗って本が出てくるって仕組みさ。

さて…これでいい。では、館内を案内しよう。

なに、待ってなくていいのかって？大丈夫、今日は混んでるから本が出てくるまで20分くらいはかかる。へえ、ずいぶんと時間がかかるもんですね、って。あのね、昔ここが厚いニス塗りの木のカウンターだったころは、一冊の本のために何枚も用紙に記入したあげく、下手すると2時間は待たされたもんだよ。

そのうえあんな電光掲示板もなかったから、自分の本が来てるかどうか、何十分かおきに聞きに行ったりしたもんさ。

食堂は本館に2箇所、定食や麺類なんかは上のほうの食堂だ。上の食堂には議員専用の席があって、ここでは時折テレビの国会中継でも見たような顔を見かけるこ

ともある。ワタシも以前、ここでミッチーこと、故・渡辺美智雄氏を見たことがある。議員席のほうじゃない普通の席に座ってうどんをすすってた。

下のほうの階の食堂はちょっと洋風の軽食を出すところ。ゴハンものでなくてトーストとかスパゲッティのほうがいい方はこちらのほうへ(ただし私見だが、このスパゲッティ、あまり美味しくない)それに、雑誌・新聞を扱う向こうの新館のほうにも喫茶室があるからこれもいれて、食事どころはつごう3つ。

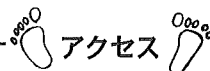
むかし、その、毎日通っていたという頃。ワタシはいわゆるボンビーのずんどこにいた。何もできない、することがない、しかるに何もしないでいるとお腹が空く。それで色々と研究をしていた。とかく何かに集中している間は、お腹の方は忘れていられるという性分だったらしい。

国会図書館に行って、カードをめくり、ぶ厚い目録を牽いて本をさがす。今あそこにあるみたいな検索のコンピューター端末なんてなかったからねえ——新聞・雑誌のマイクロフィルムを調べる。

そんな毎日のなか、唯一の楽しみが、新館の喫茶室で、安い紅茶とチーズケーキのセットを食べることだったよ。ちなみにそれが限界、家に帰ってももう食うもんを買う金はない。あとは資料のコピー代で一日分の行動費はふっとんでる。永田町から池袋まで歩いたこともあったねえ……

こらっ、…笑うな。笑うなど言うに、

(ほしの・たかし 星野孝司)



**住所** 〒100 千代田区永田町1-10-1  
**電話** 03 (3581) 2331(代)  
**交通** 営団地下鉄有楽町線・半蔵門線  
 永田町駅下車 徒歩3分  
 営団地下鉄丸ノ内線・千代田線  
 国会議事堂前駅下車 徒歩10分  
**開館日** 火～金曜日  
 第3と第4を除く月曜日、第3土曜日  
**時間** 9:30～17:00 (資料請求受付は16:00迄)  
**休館日** 日曜・祝日、第3を除く土曜日、  
 第3と第4月曜日  
**学生の利用可** (但し、満20歳以上)  
**料金** 入館無料 複写 (A4・B5) 35円

# ・新聞活用法・

【東洋大学附属図書館所蔵新聞一覧】

本学が所蔵している新聞を、各館ごとにまとめてみました。  
みなさんのテーマにふさわしい資料を探す際の手助けとして、上手に活用してください。

## どれが トクか？

同じ「新聞」を利用するにしても、その形態（CD-ROM、原紙等）やその目的（特定の日に何が合ったか、或いは特定の事件を扱った記事は何件か、等）によって一長一短があります。

### 原紙

- 長所：①現物である。  
②最新のものを見ることができる。  
③利用するのにハードウェアは不要。
- 短所：①保存期間が決められている。  
②紙そのものの保存性が短い。  
③特定のキーワードを含む記事を検索ができない。

### 縮刷版

- 長所：①原紙の紙面が複製されている。  
②利用するのにハードウェアは不要。
- 短所：①特定のキーワードを含む記事を検索ができない。  
②前月分までのデータしかない。  
③地方版はない。（中央版のみ）  
④最終版の縮刷なので、それ以前の版の記事と異なることがある。

	原紙	縮刷版	CD-ROM	マイクロフィルム
写真・図・広告	○	○	×	○
寄稿記事	○	○	×	○
地方版	○	中央版のみ	×	×
検索方法	主 題	×	×	○
	キーワード	×	×	○
	年月日	○	×	○
速報性	◎(最新)	○(翌月)	×(翌年)	△(3ヶ月)

### CD-ROM

- 長所：①特定のキーワードを含む記事を検索できる。  
②主題検索ができる。  
③記事とは別に見出しリストが出力できる。  
④特定の日の特定のページの記事の検索ができる。
- 短所：①原紙の紙面が複製されていないので、記事に付いていた写真を見ることができないし、紙面全体の構成もわからない。  
②広告・寄稿記事は載っていない。  
③地方版はのっていない。  
④前年までのデータしか無い。  
⑤CD-ROM端末でしか利用できない。

### 参考文献)

私立大学図書館協会 東地区部会 研究部 研究発表資料

### マイクロフィルム

- 長所：①原紙の紙面が複製されている。  
②紙に比べて保存に優れている。
- 短所：①特定のキーワードを含む記事を検索ができない。  
②利用するのにマイクロリーダーが必要。

【国内新聞一覧】

新聞名	発行頻度	所蔵館	所 蔵 年 数		
			オリジナル	縮 刷 版	CD-ROM
朝日新聞	日刊	白 山	3ヶ月保管	1949. 1 +	1985-1995年 版
		朝 霞	"	1962. 6 -1971. 8 1977+	1985-1995年 版
		工学部			1993-1995年 版
		板 倉	1997. 4 +		1985-1995年 版
読売新聞	日刊	白 山	3ヶ月保管	1961. 1 +	
		朝 霞	"	1978. 1 +	
		工学部	"		
		板 倉	1997. 4 +		
毎日新聞	日刊	白 山	3ヶ月保管	1952. 8 +	1991-1995年 版
		朝 霞	"	1978. 1 +	1991-1995年 版
		工学部	"	1971. 9 +	1993-1995年 版
		板 倉	1997. 4 +		
産経新聞	日刊	白 山	1年間保管		
		朝 霞	"		
東京新聞	日刊	白 山	1年間保管		
埼玉新聞	日刊	朝 霞	3ヶ月保管	1980. 4 +	
		工学部	"	1971. 9 +	1993-1995年 版
上毛新聞	日刊	板 倉	1997. 4 +		
日本経済新聞	日刊	白 山	3ヶ月保管	1949. 4 +	1990-1995年 版
		朝 霞	"	1978. 1 +	1990-1995年 版
		工学部	"	1971. 9 +	1993-1995年 版
		板 倉	1997. 4 +		1990-1995年 版
日経産業新聞	日刊	白 山	1年間保管		1994-1995年 版
		朝 霞	"		
		板 倉			
日経金融新聞	日刊	白 山			1994-1995年 版
		朝 霞	1年間保管		
		板 倉			
日経流通新聞	週3回	白 山	1年間保管		1994-1995年 版
		朝 霞	"		
		板 倉			

日刊工業新聞	日刊	白 山	1年間保管	1971. 7 +	
		工学部	1年間保管	1971. 9 +	1993-1995年 版
		板 倉	1997. 4 +		
JAPAN TIMES	日刊	白 山	3ヶ月保管	1975. 8 +	
		朝 霞	3ヶ月保管	1980. 10 +	
		工学部	"	1971. 9 +	1993-1995年 版
		板 倉	1997. 4 +		
DAILY YOMIURI	日刊	板 倉	1997. 4 +		
教育学術新聞	週刊	朝 霞	1年間保管		
図書新聞	日刊	朝 霞	1年間保管		
政府刊行物新聞	月2回	白 山	1年間保管		
		朝 霞	"		
		工学部	"		

〔マイクロフィルム版〕

朝日新聞	白 山	1884. 5 -1948. 12
毎日新聞	朝 霞	1872. 2 -1977. 12
日本経済新聞	朝 霞	1936. 1 -1979. 12

〔復刻版〕

朝日新聞	朝 霞	1944. 1 -1947. 12
------	-----	-------------------

\* 政党新聞、スポーツ新聞は除いてあります。  
\* 「+」の記号は、今後も継続購入の予定です。

図書館引き出し帳

【海外新聞一覧】

新聞名	発行頻度	所蔵館	オリジナル
<b>(米)</b>			
NEW YORK TIMES	日刊	白山	2年間保管
		朝霞	
		工学部	
ADVERTISING AGE	週刊	白山	1963. 3 +
EOS		工学部	
<b>(英)</b>			
TIMES	日刊	白山	2年間保管
TIMES EDUCATIONAL SUPPLEMENT			
TIMES LITERARY SUPPLEMENT			
TYPOLICAL STUDIES IN LANGUAGE	週刊	工学部	1994. 1 +
IEE NEWS	月刊	工学部	1994. 1 +
METALS INDUSTRY NEWS	季刊	工学部	1995. 3 +
<b>(独)</b>			
FRANKFULTER ALLGENEINE	日刊	白山	2年間保管
DER TAGESSPIEGEL			
DIE WIRTSCHAFT	週刊		
DIE ZEIT	日刊	朝霞	
<b>(仏)</b>			
NOUVELLES LITTERRARES	日刊	白山	2年間保管
LE MONDE			
<b>(旧ソ)</b>			
PRAVDA	日刊	白山	2年間保管
<b>(中)</b>			
人民日報	日刊	白山	2年間保管
		朝霞	
		板倉	1997. 6 +
光明日報	日刊	白山	2年間保管
Free China Journal	週2回	白山	
新聞出版報	週3回	白山	
文芸報	週刊	白山	
<b>(韓)</b>			
朝鮮時報	日刊	白山	2年間保管
朝鮮日報		朝霞	2年間保管
		板倉	1997. 5 +
韓国日報		白山	2年間保管
東亜日報	日刊	白山	2年間保管
<b>(台)</b>			
(台湾)中央日報	日刊	白山	2年間保管
		板倉	購入予定
聯合報	日刊	白山	2年間保管
自由新聞	週刊	白山	2年間保管

## カウンター発 9 時

# 板倉図書館のどうすればいいの？

板倉キャンパスもスタートして5ヶ月が過ぎ、大学生活にもずいぶんリズムが出てきました。留学生の割合も多く、国際色豊かな雰囲気です。秋学期を迎え、ますます活発に活動しています。

夏季休暇中には、学生だけでなく、中高生や一般の方々にも図書館を開放して、幅広く活用していただきました。

今回はそんな板倉図書館を利用する際にできる疑問にお応えします。

- Q 1 : 「アジアの文化について」という課題で、レポートを提出しなければならぬのですが、資料はどうやって探すのですか。
- A 1 : Triton-OPACという情報検索システムを使います。このシステムは、板倉図書館の蔵書だけでなく、他3キャンパスの図書館の蔵書が検索できます。検索方法は、資料のタイトルや著者、出版社、キーワードなどを入力するだけです。
- Q 2 : 板倉図書館にない資料を閲覧したいのですが……
- A 2 : 4館間の相互貸借のサービスを利用してください。OPACで調べて、他館に所蔵のある資料は、取り寄せをすることができます。2、3日時間がかかりますが、カウンターまでお申し込みください。また、当大学に所蔵がない場合には、レファレンスカウンターの方で、その資料を所蔵している他大学やお近くの公共図書館などを紹介します。複写で文献を取り寄せるサービスもあります。
- Q 3 : この本をどうしても入れてほしいのだけれど……
- A 3 : 学生からの希望図書は極力購入したいと思っています。ただし、蔵書構成の関係上、不可能なときもございますので、まずは、カウンターへご相談ください。
- Q 4 : 雑誌は難しそうなのばかりだけど、簡単に読めるものはないのですか。
- A 4 : ございます。雑誌架の一番奥の書架No.10に置いてありますので、ご利用ください。現在、まだすべてのタイトルがそろっていないので仮配架なのですが、そろいましたら、目立つところに移す予定です。なお、最新号以外は貸出もできますので、カウンターまでお持ちください。
- Q 5 : 「自由文庫コーナー」って何？
- A 5 : 文字のとおりですが、貸出・返却不要で、誰でも自由に本を持ち出しできる「図書交流の場」です。玄関入り口の風除室のところに設置されていますので、どんどんご利用ください。また、いらなくなった本がございましたら、カウンターまでお持ちください。

さて、図書館に対する疑問や不安は少し解消されたでしょうか？  
わからないことがある時には、いつでもカウンターに呼びかけてください。  
きっと、何かお役に立てることがあると思います。



図書館アラカルト LIBRARY CALENDAR (白山・朝霞・工学部・板倉)

※詳細は各館にお問い合わせください。

開館時間の変更などについては充分ご注意ください。

館内では、携帯電話などのスイッチをお切りください。

10 月					11 月					12 月				
	白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉
1 水					1 土				×	1 月				
2 木					2 日	×	×	×	×	2 火				
3 金					3 月	×	×	×	×	3 水				
4 土				×	4 火					4 木				
5 日	×	×	×	×	5 水					5 金				
6 月					6 木			×		6 土				×
7 火					7 金			×		7 日	×	×	×	×
8 水					8 土			×	×	8 月				
9 木					9 日	×	×	×	×	9 火				
10 金	×	×	×	×	10 月			×		10 水				
11 土				×	11 火					11 木				
12 日	×	×	×	×	12 水					12 金				
13 月					13 木	×	×			13 土				×
14 火					14 金	×	×			14 日	×	×	×	×
15 水					15 土	×	×	×	×	15 月				
16 木					16 日	×	×	×	×	16 火				
17 金					17 月	×	×			17 水				
18 土				×	18 火					18 木				
19 日	×	×	×	×	19 水					19 金				
20 月					20 木					20 土				×
21 火					21 金					21 日	×	×	×	×
22 水					22 土				×	22 月				
23 木					23 日	×	×	×	×	23 火	×	×	×	×
24 金					24 月	×	×	×	×	24 水	×			
25 土				×	25 火					25 木	×	×	×	×
26 日	×	×	×	×	26 水					26 金	×	×	×	×
27 月					27 木					27 土	×	×	×	×
28 火					28 金					28 日	×	×	×	×
29 水					29 土		×		×	29 月	×	×	×	×
30 木					30 日	×		×	×	30 火	×	×	×	×
31 金										31 水	×	×	×	×

× = 休館

〈白山(03-3945-7325)〉

通常開館時間  
平日 9:00~21:30  
土 9:00~20:00  
※12/22(月)10:00~18:00

冬季休暇期間中開館日  
12/20(土)・22(月)  
冬休み貸出〈学部・短大生〉  
貸出期間  
12/8(月)~12/22(月)  
返却期限 1/12(月)  
図書貸出冊数 5冊  
(含雑誌)  
視聴覚資料貸出点数 2点

〈朝霞(048-468-6329)〉

通常開館時間  
平日 9:00~18:15  
水 9:00~17:00  
土 9:00~16:00

冬季休暇期間中開館日  
12/20(土)・24(火)  
10:00~13:00  
12/22(月)  
10:00~16:00  
冬休み貸出  
貸出期間  
12/6(土)~12/24(火)  
返却期限 1/13(火)  
図書貸出冊数 5冊  
視聴覚資料貸出点数 5点

〈工学部(0492-39-1321)〉

〈建築資料室(0492-39-1432)〉  
通常開館時間  
平日 9:00~18:00  
土 9:00~16:00

冬季休暇期間中開館日  
12/20(土)・22(月)・24(火)  
冬休み貸出  
貸出開始 (図書)12/1(月)  
(雑誌)12/8(月) (視聴覚)12/15(月)  
※貸出は12/20(土)まで  
返却期限 1/9(金)  
図書貸出冊数 5冊(含雑誌)  
視聴覚資料貸出点数 2点

〈板倉(0276-82-9060)〉

通常開館時間  
月~金 9:30~17:00

冬季休暇期間中開館日  
12/22(月)・24(火)  
10:00~16:00